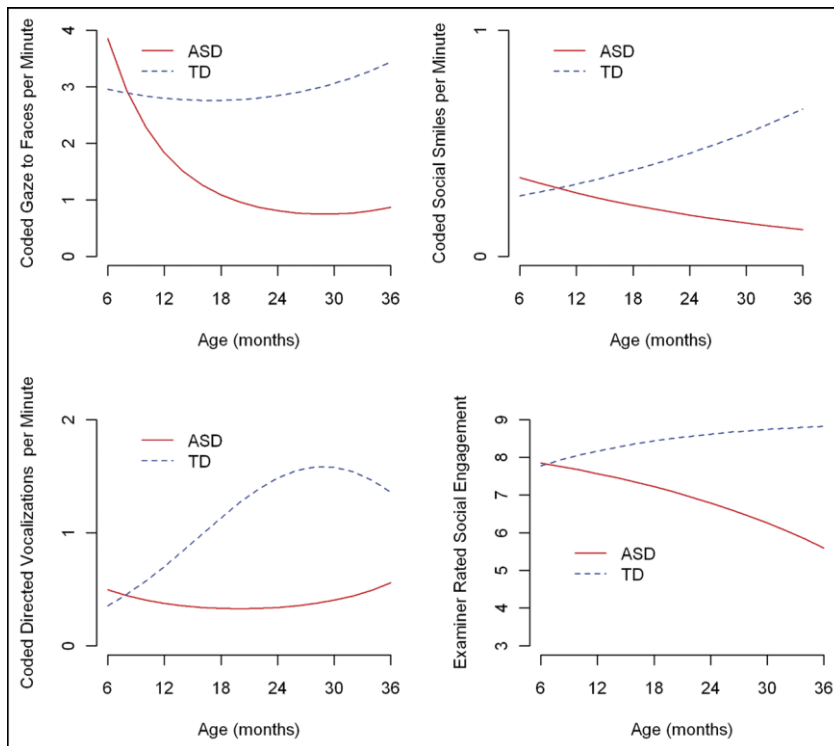


期待 79-喃語と ASD

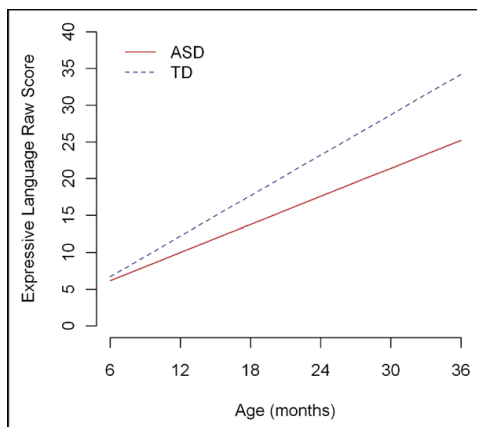
Ozonoff et al. (2010) J. Am. Acad. Child Adolesc. Psychiatry, 49:256-266.

この論文は、後に ASD と診断された幼児と定型発達の子 TD の 6-36 カ月齢の社会的

Code	Description
Gaze to Face	Infant's gaze is directed toward the face of the examiner
Gaze to Objects	Infant's gaze is directed toward an object that the examiner is presenting to the child or to another object visible in the frame.
Smile	Infant displays smile (at least one corner of mouth must be clearly upturned) and/or laughs.
Nonverbal Vocalizations	Infant vocalizes using a non-word sound (sighs, coos, whines, cries, open vowels [aah, oooh], consonant-vowel combinations [bababa])
Word Verbalizations	Infant vocalizes using a distinct word or word approximation.
Phrase Verbalizations	Infant vocalizes using a two or more word combination.



行動と言語行動の発
展的变化を追ったも
のである。上の表は行
動のコードとその説
明である。上の図は左
上が Gaze to Face, 右
上が Social Smile, 左
下が Directed Vocali-
zation の coding の結
果、右下が検査者の
Social Engagement に
ついての評定である。
いずれの図にも共通
するのは、6 カ月齢で
は ASD と TD は同じ
ような値を示すが、そ



の後は差が開くことである。TD では値が上昇する
が、ASD では低下する傾向が強い。下図は表出言
語の発達だが、TD, ASD とともにスコアが上がるが、
発達につれ差が開くことは上図と同じである。そし
て、重要なのは、後に ASD と診断された幼児の養
育者は、我が子の社会的、言語的な発達の低下
regression に気がついていないことだ。

以上、論文の斜め読みの結果だが、以下に思った
ことを述べる。まず、上に挙げた 3 つの社会的な

行動以外に TD と ASD を分けるものはないのだろうか。そして、それが月齢的に早く出現すれば早期の発見や介入に好ましい。次に、上記の行動を 6 カ月齢より前に強化することは、その出現頻度を増すのではなかろうか。もし、そうならば、高リスクの幼児への早期介入は有効かもしれない。そういう介入は養育者が行うことが好ましいが、この論文は養育者が我が子の社会的行動の regression を理解していないという。『期待 78』で述べたが、養育者の教育、訓練が重要だと思う。上記の社会的行動の生起頻度の知識を養育者が持っていれば、幼児への対応も変わってくるだろうから。